Project title: はあとf+j小郡南

建築概要

所在地：山口県山口市小郡花園町

用途：児童福祉施設等(児童発達支援、放課後等デイサービス、就労移行支援、就労継続支援B型)

構造・規模：鉄骨造1階

延べ床面積：362.97㎡

施工者：株式会社　成匠

竣工年月：2018年6月

写真クレジット：山本真也

空き店舗を活用した、まちなか障がいサービス施設です。

新山口駅近く大通り沿いに商業施設が立ち並び、その一角に屋内ひろばをもったシェアの場を設計しました。各種サービスの混在や変化に対応し、色彩による居場所の連続や、家具以上壁未満のパーティションによって構成されます。多様性をシェアする建築を試みました。

山口県を拠点とする社会福祉法人青藍会が運営する障がいサービス施設です。開かれた障がいサービス施設を目指し、新山口駅から徒歩数分の大通りに面した場所、もともと25年前に建てられたメーカーのショールームを用途変更しています。ショールーム自体は賃貸物件のため、所有するオーナーさん、管理する不動産屋さん、運営する施主さん、そして設計者を交えて用途変更申請を進め、現行法令に適合させています。特に消防設備の更新は建物価値を高めることができました。

放課後等デイサービスと就労継続支援、就労移行支援が主なサービス事業です。作業する場所、学習する場所、運動する場所、落ち着く場所などが求められました。それらを緩やかにつなげいき、カーペットタイルの色彩によって居場所をつくっています。それぞれの活動に沿った色彩を厚めのカーペットタイルで表現しているため、室名サインはありません。

先述の通り今回は賃貸物件です。物件を返すとき現状復帰が条件となります。

そのため天井は手を付けず、山口県産材の杉を芯材とする新規パーティションを開発しました。この新規パーティションは、既存天井＋床を傷つけないよう、土台は既存床に少し強力な両面テープで固定しています。また既存天井にビス固定し、木製の円形柱頭で隠しつつ、振れを吸収しています。新規パーティションの面材は、不燃材の上にシナ合板の二重貼り、目地違いに貼り合わせ剛性をつくっています。

ジグザグな平面配置によってXY方向の振れを受け止め、天井面から約500mm以上の隙間は法関係や空調をクリアにするためのもの、となります。

全体の色彩計画です。

既存内壁＋天井は白色でした。新規カーペットタイルは色彩豊かにしています。それらを調整する役割として、新規パーティションは落ち着いたグレーのウレタン塗装としました。

大通りから見るとプランはジグザグとした雁行配置となっています。大通り側から新規パーティション高さを低くしていき、逆に奥に行くほど徐々に高くしています。奥行きとひろがりの効果を与えています。

大通り沿いの全面ガラスは、既存のまま残して活用しています。腰高〜目線高さまでガラスに半透明フィルムを貼っていますが、内部の様子は見て取れます。

「中での活動がわかる」このことは意外なことに障がいサービス施設としてあまり例のないこと、多様性に関心を寄せるひとつのきっかけを「シェア」する試みです。大通り沿いのガラス面に、目線高さに合わせた展示棚を用意しています。まちに向かってさまざまな作品が展示されることを期待しています。